第15回富山県広域消防防災センター運営委員会　主な意見

（日時：令和8年10月13日（水）13:30～15:00
場所：富山県防災危機管理センター２階中会議室）

１　消防学校訓練施設を利用した地域防災力の向上（資料２）

・地域全体が高齢化していることを踏まえて、健康寿命に着目し、例えば、命を守るため避難する際に、高齢者は体の具合に合わせてどう行動するべきかを考えてもらうプログラムなども必要ではないか。
・災害の変化に合わせた訓練施設をどう整備していくかも課題だと思う。

２　四季防災館の利用促進と防災意識の向上（資料３）

・タイミングを見てリニューアルを繰り返していくことが利用促進につながると思う。
・利用状況については、１年経ってみてどうかというところもあると思う。
・資料１で共助を支える団体の利用が低調とあったが、社会福祉の分野でも共助が手薄になってきているという課題があり、そうした団体自体が減ってきていることを意識する必要がある。
・リニューアルによって利用が増えていると思っていたが、あまり増えていない。どれだけの人たちが知っているのか。インスタグラムなどで情報発信しているとのことだが、リール動画など、情報の出し方を検討してみてはどうか。
・旅行会社から四季防災館を旅行先に組み込むことも勧めていると聞いた。こうしたことを踏まえると、頑張って広報されていると思うが、口コミも大事なので、さらに頑張ってもらいたい。
・今年8月の氷見市の大雨では、床上浸水して畳が浮くまで寝ていて、避難するのが遅れた高齢者がいた。高齢者は危機意識が不足しているのでないか。
・子どもは災害で関心・興味を刺激されているので今こそ学んでもらいたい。その入り口が四季防災館だと思うので、教育委員会やＰＴＡなどとも相談して、どんどん行ってもらえるようにしてもらいたい。また、子どもを介して県民が災害に備えられるようにしてはどうか。
・解説員以外の、例えば、自然科学の博物館と連携し、学芸員などに同じものを説明してもらうのもよいと思う。異なる視点からの説明で面白くなり、また訪れてもらえるようになるのでないか。
・小学校社会科の校外学習は、児童数も少なくなってきており、そうした中でバスの支援があるのはありがたいが、四季防災館での体験も、消防局での指令室の見学も・・・となるとなかなか難しい。四季防災館に来館してもらおうとするのであれば、ここに来ると体験だけでなく、消防について幅広く学ぶことができるという強みがあればよいと思う。